

KSKP

たびだち つうしん

出

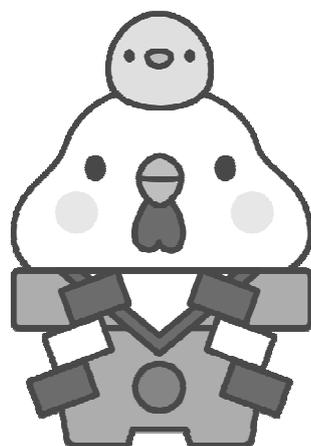
発

通

信

159号

NPO法人 出発のなかまの会



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可
毎月 1・2・3・4・5・6・7・8 の日 発行

もくじ
目次

あたら <small>とし</small> むか 新しい年を迎えるにあたって	2
デイキャンプ&ハロウィン <small>うんどうかい</small> 運動会	4
たよう <small>こた</small> <small>いばしよ</small> <small>む</small> 多様なニーズに 「居場所」づくりに向けて	5
どんどん <small>しんぶん</small> 新聞より	6
えいが <small>えんせいだい</small> <small>ゆめ</small> <small>じょうえい</small> 映画「リース遠征隊～ガルフピッケンの夢」を上映いたしました	8
わたし <small>ちいき</small> <small>く</small> 私たちは地域で暮らしているんだ	8
スタッフ <small>こそだ</small> <small>にっき</small> 子育て日記	9
かつどう 活動のあと	10

あたら とし むか 新しい年を迎えるにあたって

あたら とし はじ さむ み ひ し おも さくねん じぶん げんてん
新しい年が始まり、寒さとともに身の引き締まる思いです。昨年は、自分たちの“原点”
た もと える えい ささまな できごと お あら てんかい む うご とし
に立ち戻らざるを得ないさまざまな出来事が起こり、新たな展開に向けて動きだす年となりま
した。

がつ くまもと じしん お おお かたがた ひさい しぜんさいがい ま
4 月には熊本で地震が起こり、多くの方々が被災されました。自然災害は“待ったなし”で
おお しょうがいしゃ ひなんじょ りよう しえん と のこ げんじつ なか げんち じんそく かつどう
す。多くの障害者が避難所を利用できず、支援から取り残される現実の中、現地で迅速に活動
かいし かたがた ひさい ちしょうがいしゃ せつりつ とうかい
を開始された方々が“被災地障害者センターくまもと”を設立されました。当会のスタッフ
すうめい おとす じしん あら お くわ じしんまえ こんなん
も数名ボランティアに訪ねましたが、地震で新たに起こったニーズに加え地震前から困難な
じょうきょう かたがた ていねい ほ お かつどう ようす わたし じしん
状況にあった方々のニーズを丁寧に掘り起こしながら活動されている様子に、私たち自身
ひじょうじ こうどう そな みなお どうじ にちじょう ちいき なか かつどう つ かさ
も非常時の行動や備えを見直すと同時に、日常の地域のつながりの中で活動を積み重ねてい
たいせつ つうかん ながねん ひと あ まえ く しゃ
く大切さを痛感させられました。また、長年にわたって“すべての人が当たり前に暮らせる社
かい はいじょ しゃかい む せん くてき かつどう とうかい ぜんたいひょうり じ つきかわ
会”“排除されない社会”づくりに向けて先駆的に活動してこられた当会の前代表理事・月川
さんが亡くなられたのもこの月でした。

そして、7 月に神奈川県相模原市で起こった知的障害者殺傷事件。この事件は私たち障
がいしゃ しえん もの しゃかい しんかん おお かたがた こせい も
害者の支援をおこなっている者だけでなく、社会を震撼させました。多くの方々が“個性を持
ひとり ひと しょうがいしゃ さつがい いきどお
った一人の人”としてではなく、“障害者”とカテゴライズされ殺害されてしまったことに憤
りを禁じ得ません。このヘイトクライム(憎悪犯罪)が起こる前の5月にヘイトスピーチ解消
ほう せいりつ りねんほう じつこうせい とほ くわ たいしょう ほんほうがいしゅつしんしゃ げんてい
法が成立しましたが、理念法で実効性に乏しいことに加え、対象を“本邦外出身者”に限定
していることが重大な問題とされています。障害者や在日外国人、女性、子どもなどをはじ
めとするマイノリティに対するあらゆる差別を許さず、“誰もが排除されることのないインク
ルーシブな社会”へ向けて行動を起こすことが必要です。そして、障害者を“隔離・収容”
する施策を続けていることが、このような犯罪を生み出す背景にあることを肝に銘じないとい
けないでしょう。

がつ あたら せいかつかい こ じぎょうしょ き はけんじぎょうしょ
9 月には新しい生活介護事業所(はたらく・つながる「ととりの木」)・ヘルパー派遣事業所
(ヘルプセンター・すきっぷ)・法人事務局が入る新拠点が竣工しました。“地域に開かれた場
しょ めざ つく たてもの もんぴ かべ つく と
所”を目指して作ったこの建物には、門扉はありません。壁を作って閉じこもってしまえば、
そんざい し てい かんたん はいじょ だれ し たい
存在を知られることもなく、体よく簡単に排除されてしまいます。誰にも“知らないものに対
する恐れ”があるのは当然のことです。“安全・安心な社会”を求めるためには、安易に分け
み 見えなくするのではなく、“異質なものがふれ合ってお互いの存在を知り、違いに気づきな

「共存できる方法を模索し続ける」という方向への転換が必要なのではないでしょうか。

新事業所「ととりの木」では「自分らしく働くことで地域とつながる」ための取り組みとして、ランドリーサービスを始めました。活動を開始するにあたってチラシを作成し、エリアを決めて、メンバー・スタッフと一緒にチラシを配布すると「へ～、こんなこと始めるの？頑張ってるね」「久しぶりやね～」などと声をかけていただけることも多く、地道に地域で活動することで存在を知ってもらい、つながりを作っているのだと改めて感じました。実際に注文していただいた件数はまだわずかですが、配達で訪問する際にサービスの狭間で生活しづらい状況にある現状をお聞きすることもあり、この活動が地域のニーズを少しずつ発掘し、誰もが住みやすいまちづくりにつながる道になる可能性を感じています。

最後になりますが、新拠点オープンの際には多くの方にお祝いいただき、心よりお礼申し上げます。これからもさまざまな方とのつながりを大切に、「排除されない社会」づくりを展開していきたいと思っています。皆様よりいただきましたお祝いにつきましては、勝手ながら被災障害者救援のため「ゆめ風基金」に寄付し、ご返礼に代えさせていただく所存です。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

(ミサオ・K)



デイキャンプ&ハロウィン^{うんどうかい}運動会

10月29日（土）アクトランド八尾にデイキャンプに行きました。参加者は、出発のなかまの会のメンバー6名と、昨年も一緒に合同でキャンプに行った聖フランシスコ会からメンバー3名、支援者合わせて総勢18名です。お互い普段顔を合わす機会が少ないこともあり、事前に顔合わせを兼ねた説明会や、料理の役割分担を決めるなどしました。

今回は人数もたくさんいるので野外料理もたくさん作ることができました。定番の飯ごう炊飯とカレー、ダッチオーブンで作る鶏の丸焼き、あそぼうパンとご馳走です♪あそぼうパンは、竹にパン生地を巻いて、くるくる回しながらじっくり焼きあげていきます。煙が目に染みても、みんなパンのため最後まで焼き上げていました。支援者も一緒に楽しんで焼いていましたが、そんな中、メンバーが下のエリアに一人で遊びに行ってしまう、他のグループのビールに手を伸ばされるというハプニングも！慌てて迎えに行くという一幕もありました。

会えばいつも「キャンプ行こな〜」というメンバーは、キャンプ場に来ればいつも決まって落ち葉のお掃除。今回も炊事棟の屋根の大量の落ち葉に挑んでいました。キャンプの楽しみ方は人それぞれですね。カレーをお玉でつまみ食いする人もいるくらい(!?)美味しいごはんができました。

お腹いっぱいのは後は、運動会。ハロウィンの時期だったので、アフロやマスクを被ったり、自前の衣装を着たりして仮装をしての運動会でした。玉入れやあめ食い競争、綱引きなどの競技を2チームに分かれておこないましたが、これが予想以上に盛り上がりました。あめ食い競争の小麦粉を派手にまく人もいれば、いつも大胆に行動する人がお玉に乗せたピンポン玉を慎重に運んでいたり、普段あまり走らない人が雰囲気によって小走りでリレーをするなど名場面がたくさんうまれました。メンバーも支援者も我を忘れて必死になった綱引きは運動会一番の盛り上がりでした。

「支援」となると支援する側と支援される側になってしまいがちですが、それとは関係なく真剣にあそんで、一緒に楽しむことは大事ですね。

なので、デイキャンプ&運動会は年間行事にしたいなあと思います!!

(トモコ・I)



多様なニーズに応えられる「居場所」づくりに向けて

生野東にある「松野農園」では、社会問題になっている空地・空家をリノベーションして食と農を通じて赤ちゃんからお年寄りまで住民誰もが参画し、それぞれの力を発揮して社会的役割を果たすことでつながりをつくっていく場所になるよう活動しています。

活動の意義や場所、目的などをひろく知ってもらうためにもさまざまなイベントを企画して実施しています。これまでに「フラワーアレンジメント教室」や「音楽会」、「そうめん流し」などをおこなってきました。毎年10月には「さんま祭り」として、東北からさんまを仕入れて炭火で焼いて食べてもらうことによって、被災障害者への支援（寄付）になる活動をおこなっています。今年は4月に熊本で震災があったので、同時に熊本の被災障害者への寄付もおこないました。松野農園でおこなうのは今回で3回目でしたが、今年は150尾仕入れたさんまが13時30分頃には完売しました。例年楽しみにしていただいている方以外に新しく来ていただいた方もあり、ゆるやかにですが「つながり」が広がりつつあることを感じさせてくれます。

また、毎月第三金曜日の午前中に「生野区で空地・空家を利用した食と農のプロジェクトをすすめる会」の定例会をおこなっています。定例会では、生野区内にある福祉事業所以外にも区役所、社会福祉協議会、連合町会などさまざまな分野の団体・個人・事業所が参加しています。生野区は空家率が市内で2番目に高いこともあり、空地・空家の活用をどうすすめていくのかについての関心の高さを示しているといえます。

高齢者・障害者・子どもなどの縦割りを超えて、生野区でも地域共生の取り組みがすすめられています。それでも既存のサービスにはつながりにくい人、事業所などに通えない・なじめない人などがまだまだ居ます。少子高齢化や急激な社会変化の中で、不安や孤独を感じながら過ごしている人たちにとっての安心・安全が求められています。そのために自分の興味・関心を認めてくれる人や自分ができることを発揮出来る心地よい「居場所」に出来るように「松野農園」で活動しています。

空地・空家の活用や「居場所」づくりの問題は生野区だけの問題ではなく、全国的な社会問題になっています。「食と農のプロジェクトをすすめる会」の取り組みについて神戸や西成などからの見学もあり、少しずつですが関心が広がってきつつあります。

多様なニーズに応えられる「居場所」づくりに向けてさまざまな人たちと共に活動に取り組んでいきます。

(トオル・Y)

©どんどん新聞No.142 から抜粋して掲載しています

どんどん新聞No.142



発行日 2016年 10月 31日
発行者 自立生活センター・どんどん
大阪生野区田島1-10-30
tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



対府交渉に参加しました!

2016年8月1日(月) 場所:天王寺区民センター

◆なんと言ったらわかるねん!

どんどんは毎年、制度の問題点を伝えるため対府交渉に参加しています。

Iさんは暑い中、自転車で会場に向かいました。到着すると室内は色々な人の怒りのエネルギーでいっぱいです。

グループホームで問題になったのはグループホームへの個別ヘルパー派遣が恒久化されていないことです。個別ヘルパーが使えなくなれば、一人一人に合った地域生活を送ることが難しくなります。Tさんは「ごはんを一緒に作ったりできません!いやです!」と必死に訴えました。K.Yさんもヘルパーに来てもらいたいことを訴えました。

日中支援加算について発言したのはK.Kさんです。作業所を休んでグループホームで過ごしても人件費の加算がありません。そのためケア出来る人がおらず作業所を休みにくくなります。K.Kさんは「休むなってことか!」と体調が悪い中、必死に怒りました。

府の担当者が何もわかっていなくて、参加者全員イライラしました。怒りを伝えないと地域生活が崩壊します。今後も自分たちの生活を守るために交渉に参加します!!



◎どんどん新聞No.144 から抜粋して掲載しています

しんぶん
どんどん新聞No.144



はつこうび 2017年 1月 16日
発行日

はつこうしゃ じりつせいかつ
発行者 自立生活センター・どんどん

おおさかしいくのくたじま
大阪市生野区田島1-10-30

tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



はたらく・つながる「ととりの木」が開所しました

にちじ ねん がつ か げつ ぼしよ
日時:2016年10月3日(月) 場所:はたらく・つながる「ととりの木」

◆新しい場所でも頑張るぞ!

どんぐり作業所が開所し20年が経ちました。2階、3階へ行くには狭くて急な階段を上らなくてははいけません。メンバーも少しずつ年齢が上がり、これからの新しい活動を考えていくことになりました。そこで新しい作業所を建設し、引っ越すことになりました。

「新しい活動を始めるので、名前を変えよう」という意見もありましたが、「“どんぐり”をなくさないでほしい」という意見もあり、みんなでいろいろと考え、新しい名前が決まりました。“はたらく・つながる「ととりの木」”です。「ととり」は韓国語で“どんぐり”という意味です。どんぐりの実は根を張り、やがて大きな木になります。同じようにこれからも生野の地に根を張って、働きながら地域とつながる作業所を目指すぞ!という思いを込めました。

建物の形がだんだんと出来てくるにつれ、引っ越しが楽しみになるメンバーが増えました。9月になると、どんどん会議でも「ドキドキするわ」という意見が増えました。

スロープの縁石はメンバーも支援者も一緒に作った力作です。カラフルなタイルをブロックからはみださないように貼りつけるので、大変集中力が必要でした。完成した縁石を誇らし気に披露したのは、Mさんです。Y.Hさんは色合いに悩みながら作りしました。

開所式ではK.Kさんが毛筆で“開所式”と書かれた垂れ幕を作り、司会も務めました。K.Yさんも「やりたい」と司会に立候補し、当日は朝早くから作業所に行って、司会の練習をしました。牧師の服装のK.Kさんと一緒に「はじめます」と挨拶をしました。

メンバーが一言ずつ挨拶しましたが、T.Kさんはマイクがまわってくると“贈る言葉”を熱唱しました。つられたのかIさんも“贈る言葉”を歌いました。

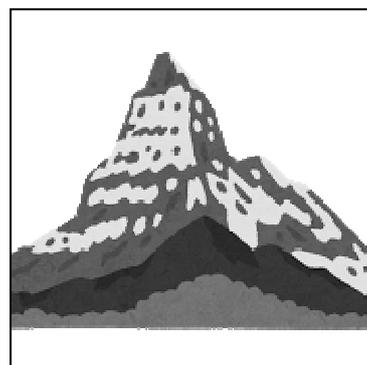
10月から「ととりの木」での毎日が始まっています。これからも応援よろしくお願ひします!

映画「リース遠征隊〜ガルフピッグンの夢」を上映いたしました！

デンマークに留学中の元ヘルパーさんより、「難病を抱える青年ヤコブ・リースとその仲間が、北ヨーロッパ最高峰登頂の夢に挑戦したドキュメント映画を大阪で上映しませんか」と話をいただきました。近隣の団体と実行委員会を立ち上げて、11月16日(水)に東成区民ホールにて上映会を開催しました。

昼と夜と2回上映し、約160名の方が来てくださいました。この映画で日本を縦断中のリースさんたちも来られ、映画のいきさつや背景、登山の裏話なども聞かせてくれました。

この映画は、自分の夢や思いを難病や障害のせいにして、制限したりあきらめたりすることなく挑戦すること、また仲間と共に困難を乗り越えていくことを見せてくれました。しかもみんな明るく前向き、何とかなるだろう！といった肩の力が抜けた感じなところが魅力的でもありました。障害があってもなくても自分の人生を生きる感じが伝わり元気をもらいました。



タック！（デンマーク語で“ありがとう”の意味）

（サトシ・M）



私たちは地域で暮らしているんだ

Tさんは毎月、生野区から発行される『広報いくの』を熱心にチェックしています。その中で11月3日に『区民レクリエーションの集い』がおこなわれるという情報をゲット！これは参加したい！区民センターで参加券を購入し、行ってきました！

5種目程に参加し、その中の一つ、デカパン競争にて3位入賞！地元の運動会という事もあり、知っている人が数人いた様子。Tさんは保育所で働いているため、担当だった子ども達とも会い、「T先生や〜」と久しぶりの交流を楽しまれた様でした。

しかし残念な事に今回は二人で参加したため人数不足でリレーに参加できませんでした。

次回は人を集めてリレーかな？

「私と走りたい人、集まれ〜！」

（ワカナ・K）

こそだ にっき スタッフ子育て日記



11月8日23時39分、2612グラムの男の子を出産しました。この原稿を書いている時には、息子が産まれてから3週間が経っています。体重は3200グラムを超え、顔や体がふっくらし、手足の力がだんだん強くなってきました。

最近では、息子はおっぱいが欲しいときに、私の服をひっぱったり、胸のあたりを触ったりします。でも、いざ授乳しようとする、息子は自分の手や指を吸い出したり、急に泣き出したりして、苦戦することがあります。そんなときは、息子が「おっぱいを飲みたい」と思うタイミングまで待ってみることにしています。おっぱいを飲み終えて、満足そうに私の腕の中で眠る息子の寝顔を見ると、なんとも言えない気持ちになります。

これまでは、自分のタイミングで生活を送っていたのが、今では息子が寝たり起きたりするタイミングに合わせた生活を送るようになりました。もともとせっかちな性格ですが、息子と過ごすようになってから、随分のんびりと生活するようになった気がします。

幸いなことに、私は実家の目の前に住んでいるため、毎日夕方から両親に息子の面倒を見てもらっています。夫も、子供が生まれてから、今まで以上に家事を手伝ってくれたり、買い物をしてくれたりしています。こうして、身近に協力してくれる人がいることで、私自身、息抜きができ、しんどい思いをすることが少ないのは、感謝すべきことだと思います。

正直なところ、“母親になった”という実感がまだ湧きません。毎日手探りで子育てをしている状態です。これから息子と共に、私も母親として成長していきたいです。

(ショウコ・H)

スタッフ・ヘルパー大募集！！

当会ではメンバーの生活を支える支援スタッフを大募集しています。お知り合いに当会の活動に関心をもってくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひお声かけしてください。資格がなくても始められる仕事です。みなさまのお力をぜひお貸しください。問い合わせ大歓迎です。連絡はヘルプセンター・すきっぷまでお願いします。

ヘルプセンター・すきっぷ 電話06-6754-3011 (担当スガタ)

活動のあと

9/2 研修受け入れ(社会福祉法人イエス団)	10/30 研修受け入れ(社会福祉法人花の会あじさいクラブ)③
9/3~4 みらくるクラブ【高取山キャンプ】	内部研修(パワーアップ会議)
9/5 執行委員会	11/2 九州列車旅行説明会
9/6 消防設備等法定点検①/ビーブルファースト勉強会	食と農のプロジェクトをすすめる会幹事会
9/7 消防設備等法定点検②	11/2~4 長野旅行
食と農のプロジェクトをすすめる会幹事会	11/4 グループホームスタッフ全体会議
9/9~10 はたらく・つながる「とりの木」&ヘルプセンター・すきっぷ 内覧会	11/9 出発通信編集委員会
9/10 研修受け入れ(社会福祉法人花の会あじさいクラブ)①	11/10 執行委員会
9/11~12 ヘルプセンター・すきっぷ 引越し	11/11 きらら・らいすケア会議/松野農園イベント【事業所交流会】
9/13 安全委員会(らいす・みらくるちっぷ・すきっぷ・たびだち共働作業所)	11/12 内部研修(発達障害勉強会)/HIT 理事会
ヘルパー・どんどん・カモ〜ン・プロジェクト(どんどん)	11/13 志摩マラソンに参加
9/14 作業所ミーティング	11/14~27 実習受け入れ(四天王寺大学)
生野区グループホーム連絡会世話人会	11/15 松野農園イベント【音楽会】
生野区学童期の子ども支援連絡会	研修受け入れ(自立支援センター・エポック)
9/15 障大連グループホーム部会世話人研修会講師(どんどん)	11/16 「リース遠征隊 ガルフビッケンの夢」
9/16 ドロン/食と農のプロジェクトをすすめる会	上映会&トークセッション/生野区 NPO 連絡会
はたらく・つながる「とりの木」説明会	11/17 障大連医療のケア交流会
9/17 ILP(自立生活プログラム)講座(掃除・片付け番外編)	11/17~19 九州列車旅行
9/20 みらくるクラブ【高取山キャンプ】振り返り会	11/18 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン
9/21~22 ビーブルファースト in 横浜	11/19 松野農園イベント【まちカフェ】
9/23 はたらく・つながる「とりの木」開所式	11/20 みらくるクラブ【運動会】(舍利寺小学校)
9/24 みらくるちっぷ懇談会	11/22 どんどん学習会(対市交渉)
研修受け入れ(社会福祉法人花の会あじさいクラブ)②	食と農のプロジェクトをすすめる会
9/26 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議	コミュニティ・サポート神戸にて講演
9/26~10/25 実習受け入れ(大阪保育福祉専門学校)	11/23 第 7 回東北⇄関西⇄九州ポジティブ生活文化交流祭出店
9/27 どんどんプロジェクト会議	11/24 かんさい★なう交流会②
NPO 法人地域生活サポートネットほうぶ運営委員会	11/25 地域共生ケア生野推進委員会
9/28 生野区 NPO 連絡会	生野区 NPO 連絡会勉強会/障大連運営委員会
地域共生型福祉サービス運営推進協議会(アデランテ)	ビーブルファースト in 横浜合同報告会(聖フランシスコ会)
9/29 内部研修(発達障害勉強会)	11/30 作業所ミーティング/研修受け入れ(社会福祉法人花の会)
9/30 どんぐり作業所お別れ会(閉所)	12/2 大阪キリスト教短期大学講演(どんどん)/
共生型サービス開設セミナー	大阪市オールラウンド交渉①
10/1 どんぐり作業所引越し	12/4 松野農園イベント【フラワーアレンジメント】
(はたらく・つながる「とりの木」へ移転)	12/6 どんどん学習会(在日外国人)
10/4 どんどんプロジェクト会議②	食と農のプロジェクトをすすめる会幹事会
10/7 グループホームスタッフ全体会議/不登校支援の座談会	12/6~7 K さん岡山旅行
10/7~8 芦生旅行	12/8 執行委員会
10/8 みらくるちっぷ懇談会	12/9 グループホームスタッフ全体会議
内部研修(みらくるちっぷケース検討会)	大阪市オールラウンド交渉②
10/11 どんどん学習会(ヨルダン報告会)	成年後見勉強会
食と農のプロジェクトをすすめる会幹事会	12/10 内部研修(発達障害勉強会)/奈良マラソンに参加
10/12 執行委員会/生野区グループホーム連絡会	12/11 松野農園イベント【クリスマス音楽会】
10/13 かんさい★なう交流会①	大阪障害者自立セミナー2016
生野区学童期の子ども支援連絡会	理事会/生野子育て社会化研究会
10/14 とんぼまる・桃栗館ケア会議/どんぐり作業所売却	ヘルパー・どんどん・カモ〜ン・プロジェクト(どんどん)
10/15 松野農園イベント【さんま祭り】(被災地支援)	12/13 松野農園イベント【ランチ交流会】
10/17 内部研修(AED 研修)	どんどん事業所交流会(あるる)
10/19 ホットメールなにわ	12/14 生野区グループホーム連絡会
10/21 和楽苦荘・かのかんケア会議	見学交流(食と農のプロジェクトをすすめる会
食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン	西成フレアーズプロジェクト)
10/23 N さん名古屋日帰り旅行/S さん両親古希祝い	12/16 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン
10/24 生野子育て社会化研究会	地域共生ケア生野推進委員会役員会
10/25 作業所ミーティング	12/18 みらくるクラブ【もちつき】(松野農園)
10/26 大阪府集団指導/生野区 NPO 連絡会	NPO 法人「どうで」(奈良・山添)第三者検証委員会
地域共生型福祉サービス運営推進協議会(アデランテ)	12/20 とんぼまる・桃栗館ケア会議
10/27 どんどん事業所交流会(おたっしやデイナービス)	内部研修(感染症研修①)/生野区 NPO 連絡会
地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスモンテ)	12/21 内部研修(感染症研修②)/生野区 NPO 連絡会
10/28 地域共生ケア生野推進委員会役員会	生野区学童期の子ども支援連絡会
ひとり暮らし支援を考える会	12/22 臨時執行委員会
10/29 デイキャンプ(聖フランシスコ会と合同企画)	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスモンテ)
10/29 共生型サービス開設セミナー	12/26 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議
	12/27 作業所ミーティング
	12/28 作業所もちつき

へんしゅうこうき
編集後記

2017年になりました。昨年は“初めて”
の事が多い年になったように思います。
やっぱり動かないと始まらないなと感じた
年になりました。今年は酉年。また新たな
経験を重ねて、多くの事を“とりこむ”年に
したいですね。(ワカナ・K)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011

大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内

TEL 06-6758-6641

FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080

(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp

ホームページ http://www.tabidati.jp/

700部

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 発行人 関西障害者定刊行物協会 毎月 1・2・3・4・5・6・7・8(の日) 発行

発行人 関西障害者定刊行物協会

大阪府天王寺区真田山町二二一

東興ビル4階

頒価百円